

# TDC通信パッケージ インストールマニュアル

本書はTDC通信パッケージのインストールマニュアルです。

株式会社 トヨタシステムズ

2022年10月24日

ver.1.1.4

日付	版数	改訂内容
2018/04/01	1.0.0	初版
2018/11/09	1.1.0	TDC通信パッケージ 1.1.0 版 リリースに伴う改定
2019/01/01	1.1.1	会社名変更
2021/03/26	1.1.2	TDC通信パッケージ 1.1.1 版 リリースに伴う改定 対応OSの修正
2022/08/26	1.1.3	ダウンロードページアドレス変更
2022/10/24	1.1.4	ページ番号とタイトル変更

## インストール時にご準備頂くもの

インストール作業にあたり、以下の情報を準備して頂く必要があります。

ご利用になるサービス（DIEX(汎用)サービス / u-DIEX(汎用)サービス）で、必要な情報が異なります。

No.	情報	内容	DIEX	u-DIEX
1	インストーラー (データ)	ダウンロードサイトより入手	○	○
2	EDI-ID登録完了のご案内 (PDF)	EDI-ID登録完了時に送付した資料	○	
3	プロセスID登録完了のご案内 (PDF)	プロセスID登録完了時に送付した資料		○
4	プロセス固有情報 (データ)	プロセスID登録時に必要な パスワードファイル		○

※上記全て申込による再発行が可能です。

## TDC通信パッケージの動作に必要な環境

TDC通信パッケージをご利用頂く場合、下記条件を満たす必要が御座います。

No.	動作に必要な環境	条件
1	導入対象端末	OS: Windows 10 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 メモリ: 1GB以上 HDD: 10GB以上 ディスプレイ: 1366x768以上
2	Microsoft .NET Framework 4以上	<b>「A.参考情報 .NET Frameworkのインストール」を参照し、インストールを行って下さい。</b> OSに標準搭載されている場合はインストール不要

## 高速スタートアップとは

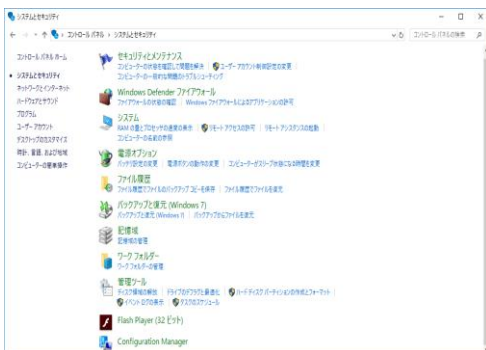
パソコンの起動を速くするため、シャットダウン時にメモリやCPUなどの状態を保存しておく機能です。通信パッケージのスケジュール処理が意図しない時間に動作することがあるので、**無効化**を推奨いたします。  
※Windows10 に限る

## 手順方法

1. 「コントロールパネル」を開きます。
2. 右上にある表示方法が「カテゴリ」になっている事を確認  
「システムとセキュリティ」をクリックします。



3. 「電源オプション」をクリックします。



4. 左の項目にある「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。



5. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。



6. 「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックをクリックで外します。



7. チェックを外したら右下にある「変更の保存」をクリックします。



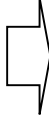





## ご加入するサービスによる手順の違い

ご加入するサービスにより、インストール作業の手順が異なります。

### ご加入のサービスのマークが付いているページの作業を行う

ようお願い致します。

・DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・u-DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・DIEX（汎用） /u-DIEX（汎用）サービスにご加入の場合		



## インストール作業手順

DIEX

両方

u-DIEX

1. セットアッププログラムのダウンロード

2. インストール

3. 環境設定

4. ユーザー登録

5. システム再起動

6. u-DIEXパスワード登録

7. データ送受信テスト準備

8. データ送受信テスト  
(DIEX (汎用) センターとのテスト)

9. 振分け情報受信

10. データ送受信テスト  
(u-DIEX (汎用) センターとのテスト)

完了

**注意**

管理者権限のあるユーザーでログインして下さい。

administrator権限のあるユーザーでログインして下さい。

1. TDC通信パッケージをインストールするPC起動して、Windowsにログオンします。
2. TDCダウンロードサイトから、「**TDC通信パッケージ**」をダウンロードします。  
TDCダウンロードサイトURL :  
<https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/packageDownload.html>
3. ダウンロードしたzipファイルを解凍し、展開します。  
解凍に必要なパスワードには、事前にお伝えしたパスワードを入力してください。
4. 展開したファイルの中の「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」を、デスクトップへコピーします。

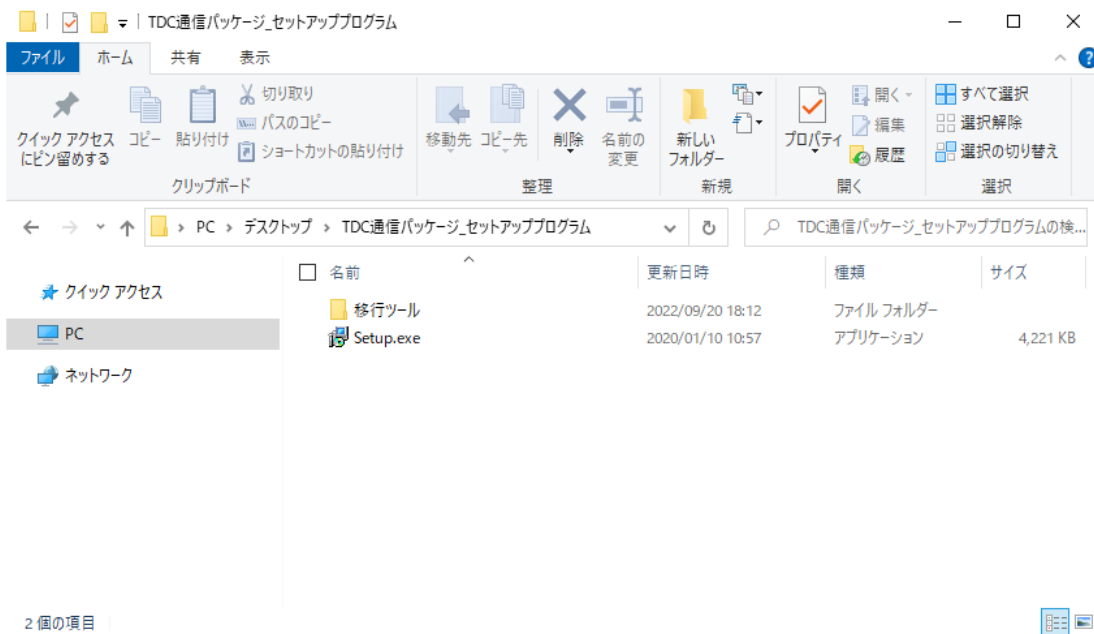
以上でセットアッププログラムのダウンロードは完了です。

**注意**

管理者権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。

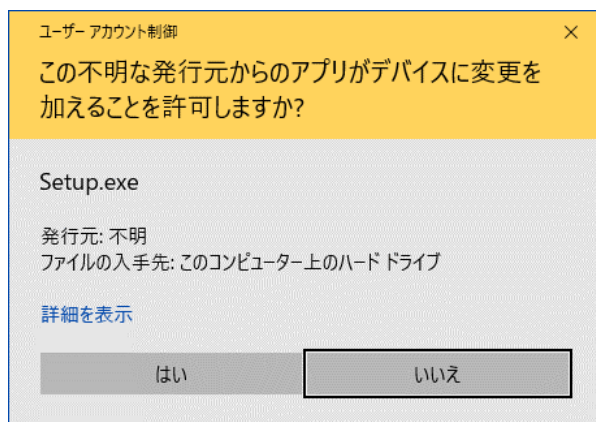
administrator権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。

1. デスクトップにある「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」フォルダを開き、「Setup.exe」を実行します。(\*1)

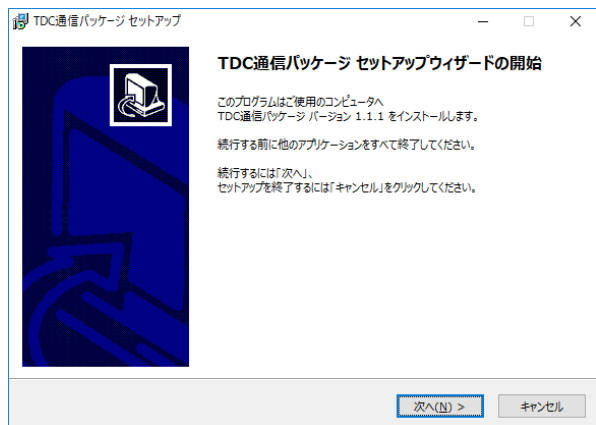


- (\*1) デスクトップに「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」フォルダがない場合は、「1. セットアッププログラムのダウンロード」を実施してください。

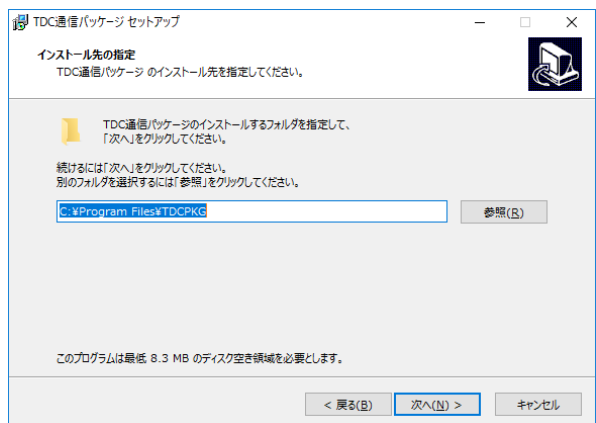
2. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



3. 「次へ」をクリックします。

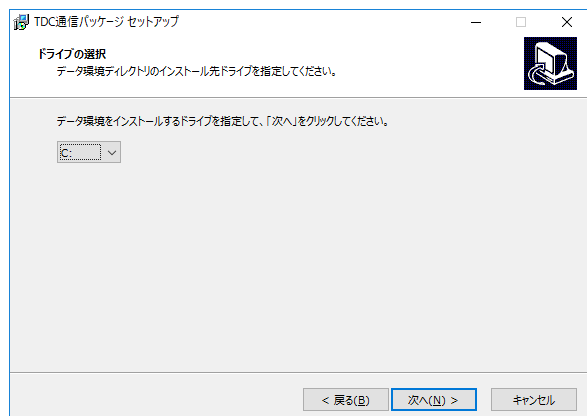


4. 「次へ」をクリックします。



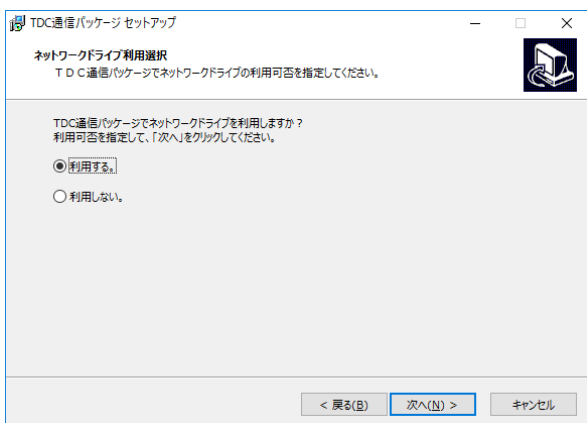
## 5. 「次へ」をクリックします。

※デフォルトはCドライブです



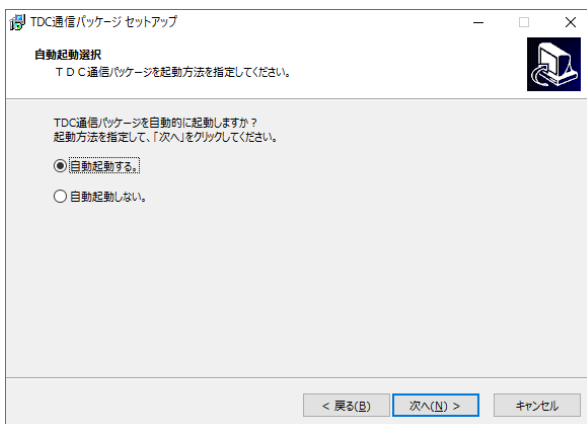
## 6. ネットワークドライブを「利用する」又は、「利用しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※送受信ファイル格納先にネットワークドライブを利用される場合は「利用する」を選択してください。



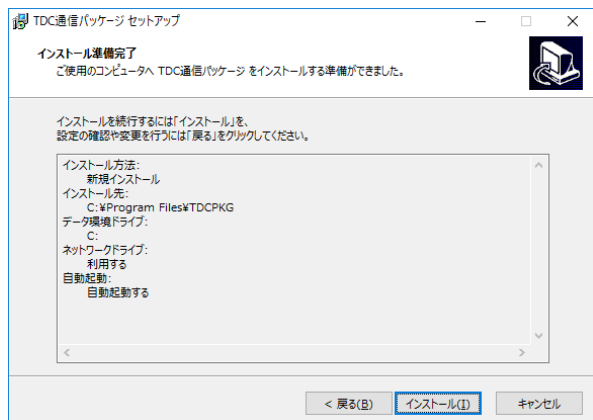
## 7. 「自動起動する」又は、「自動起動しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※毎回手動でシステムサービスの起動・停止を行いたい方は、「自動起動しない」を選択します。

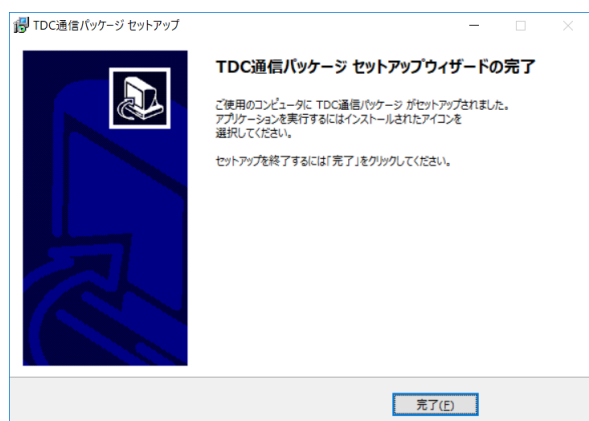


「自動起動する」推奨

7. 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



8. 「完了」をクリックし、インストール終了します。



注意

インストール完了後、PCを再起動して下さい。

## 1. 「システム管理メニュー」をクリックします

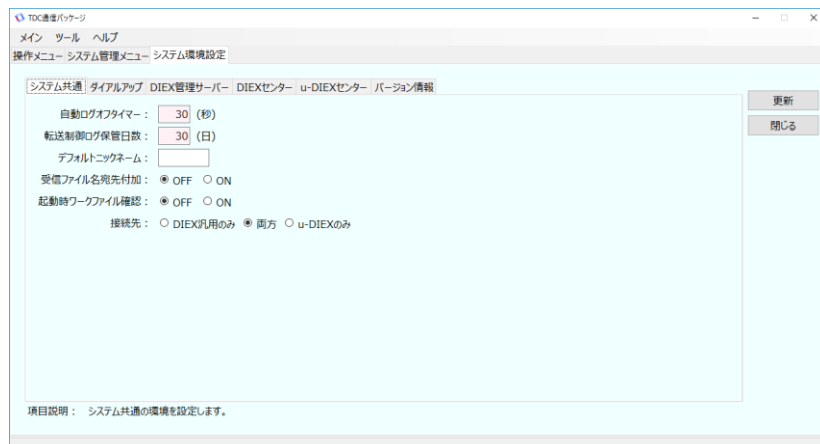


## 2. 「システム環境設定」をクリックします



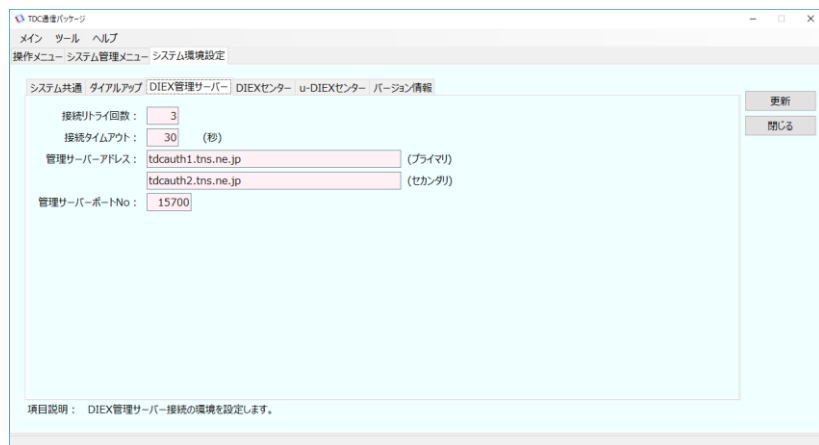
## 3. 接続先を選択します

- DIEX(汎用)サービスのみ利用 ⇒ DIEXのみ
- u-DIEX(汎用)サービスのみ利用 ⇒ u-DIEXのみ
- DIEX(汎用)サービス及び、u-DIEX(汎用)サービス利用 ⇒ 両方



## DIEX(汎用)サービス利用時

4. 「DIEX管理サーバー」タブを選択し、管理サーバーアドレスの値を確認します。



	D.e-Net利用時	JNX利用時
プライマリ	tdcauth1.tns.ne.jp	tdcauth1.jnx.tns.ne.jp
セカンダリ	tdcauth2.tns.ne.jp	tdcauth2.jnx.tns.ne.jp

## u-DIEX(汎用)サービス利用時

5. 「u-DIEXセンター」タブを選択し、ゲートウェイサーバーアドレスの値を確認します。

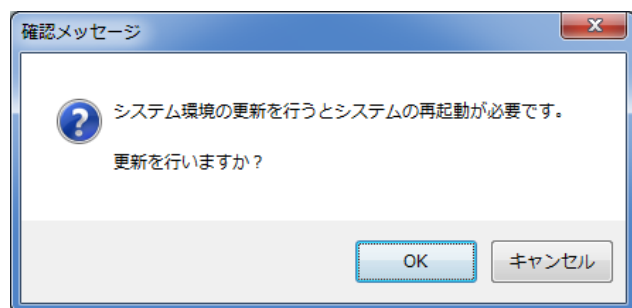
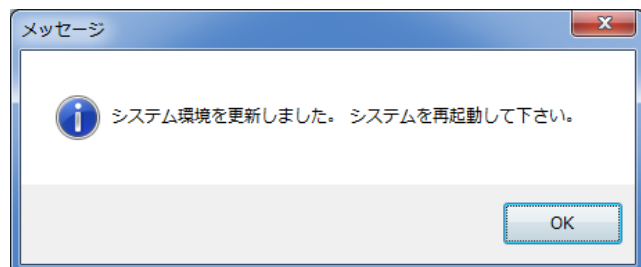


D.e-Net利用時	JNX利用時
p-ftp.u-diex.jp	



共通

6. 「更新」をクリックし、表示された画面にて「OK」をクリックします



以上で環境設定完了です。

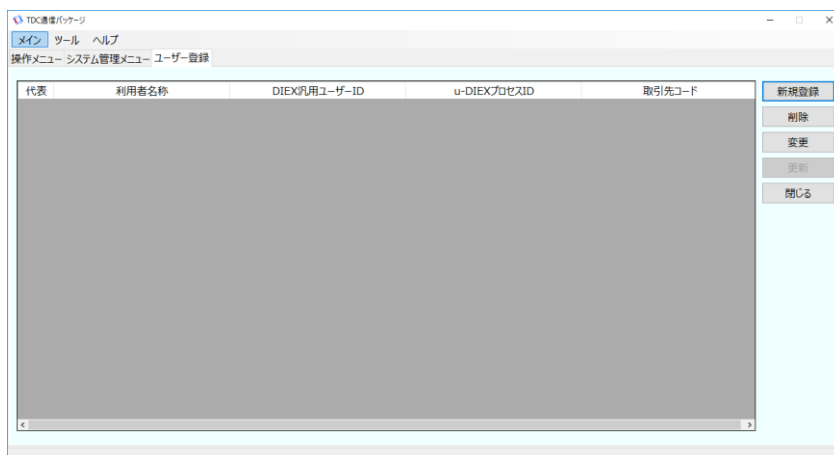
## 1. 「システム管理メニュー」をクリックします



## 2. 「ユーザー登録」をクリックします



## 3. 「新規登録」をクリックします



## 共通

4. 「共通」タブにて下記情報を入力します。

- ・ 利用者名称 ⇒ 任意
- ・ 取引先コード ⇒ 得意先付番の御社の取引先コード（5桁） + 取引先詳細コード（3桁）  
※取引先コードの先頭は空白（空白）が必要です。  
※取引先詳細コードが付番されていない場合は、「000」として下さい。

例) 取引先コード : 9999

取引先詳細コード : 001 の場合

⇒\_9999001 (“\_” アンダーバーは空白（空白）を意味します)

The screenshot shows a web application window titled "TDC連携パッケージ" with a menu bar containing "メイン", "ツール", and "ヘルプ". Below the menu, it says "操作メニュー システム管理メニュー ユーザー登録". The main content area has a tabbed interface with "共通", "DIEX汎用", and "u-DIEX" tabs. The "共通" tab is active, showing two input fields: "利用者名称(\*)" with the value "OXXXXXX" and "取引先コード(\*)" with the value "9999000". To the right of these fields are two buttons: "登録" and "戻る".

## DIEX(汎用)サービス利用時

5. 「DIEX汎用」タブより、「DIEX汎用を利用する」を選択し、  
『EDI-ID登録完了のご案内(PDF)』を参照の上、下記情報を入力します。
- 管理サーバーログインユーザーID
  - 管理サーバーログインパスワード

TDC連携パッケージ  
メイン ツール ヘルプ  
操作メニュー システム管理メニュー ユーザー登録

共通 DIEX汎用 u-DIEX

DIEX汎用を利用する

管理サーバー経由

管理サーバー  
ログインユーザーID(\*) : XXXXXXXX

管理サーバー  
ログインパスワード(\*) : \*\*\*\*\*

リトライ回数(\*) : 3

管理サーバー経由しない

EDI-ID(\*) : [REDACTED]

パスワード(\*) : [REDACTED]

状況確認  
タイマー起動時間 : [ ] 時 [ ] 分

登録 戻る

## u-DIEX(汎用)サービス利用時

6. 「u-DIEX」タブより、「u-DIEXを利用する」を選択し、  
『プロセスID登録完了のご案内(PDF)』を参照の上、「プロセスID」を入力します。

TDC連携パッケージ  
メイン ツール ヘルプ  
操作メニュー システム管理メニュー ユーザー登録

共通 DIEX汎用 u-DIEX

u-DIEXを利用する

プロセスID(\*) : OXXXXYY @ UDCOM

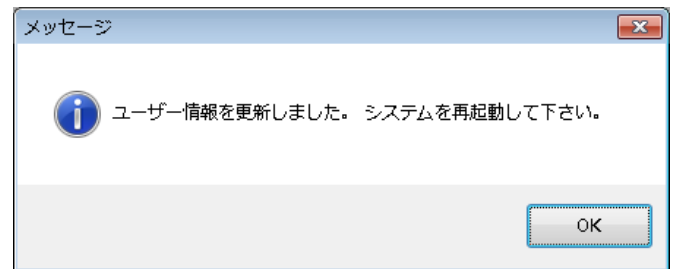
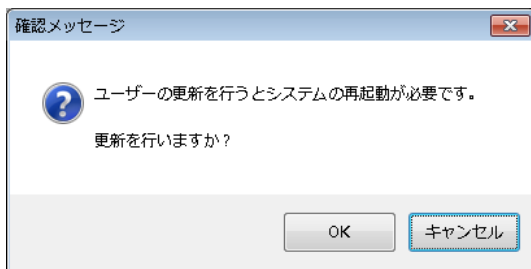
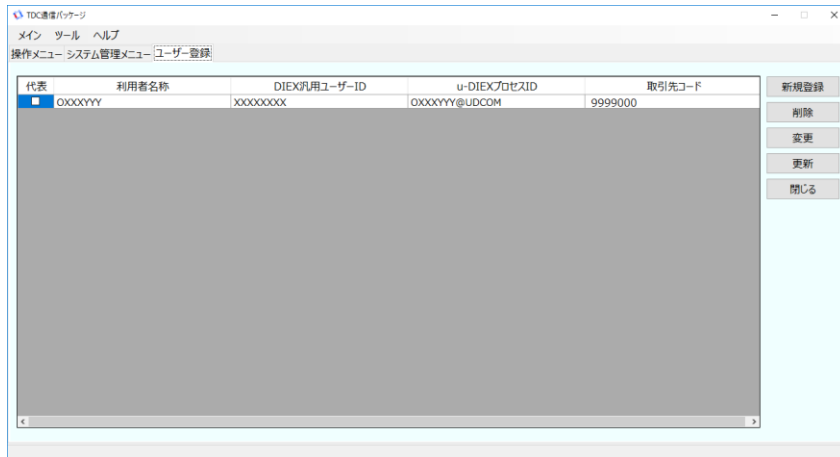
受信パス(\*) : /DIEX\_COM/UDCOM-OXXXXYY

登録 戻る

## 共通

7. 「登録」をクリックします

8. 「更新」をクリックし、表示された画面にて「OK」をクリックします



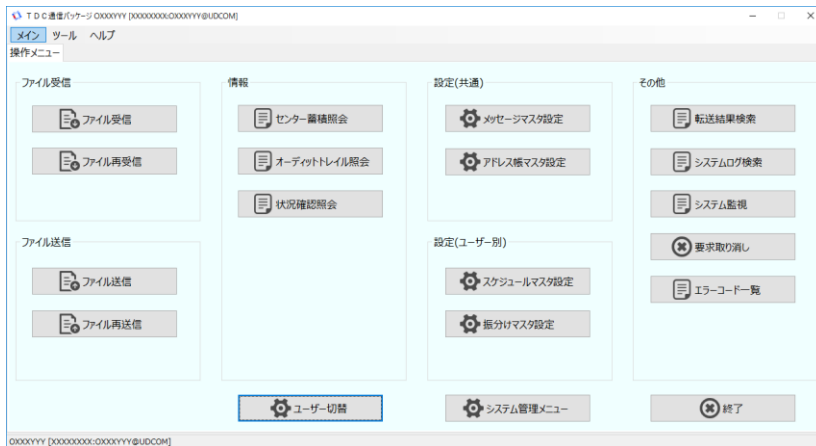
## DIEX(汎用)サービス利用時

以上でユーザー登録完了です。

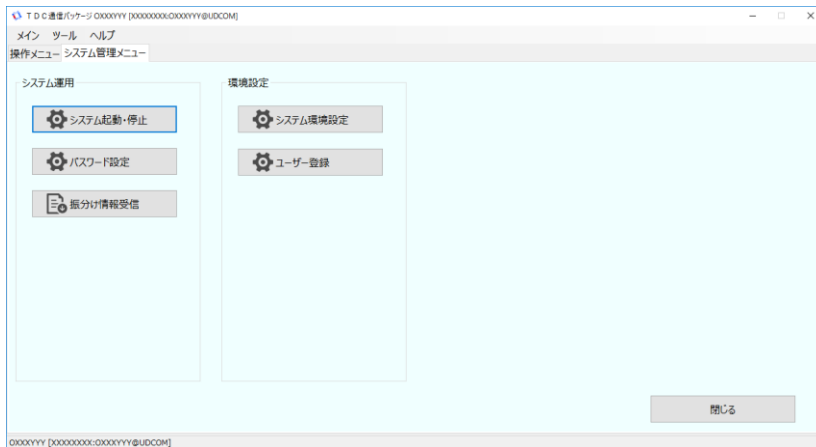
## u-DIEX(汎用)サービス利用時

『6. u-DIEXパスワード登録』を実施して下さい。

## 1. 「システム管理メニュー」をクリックします



## 2. 「システム起動・停止」をクリックします



## 3. 「停止」をクリックします



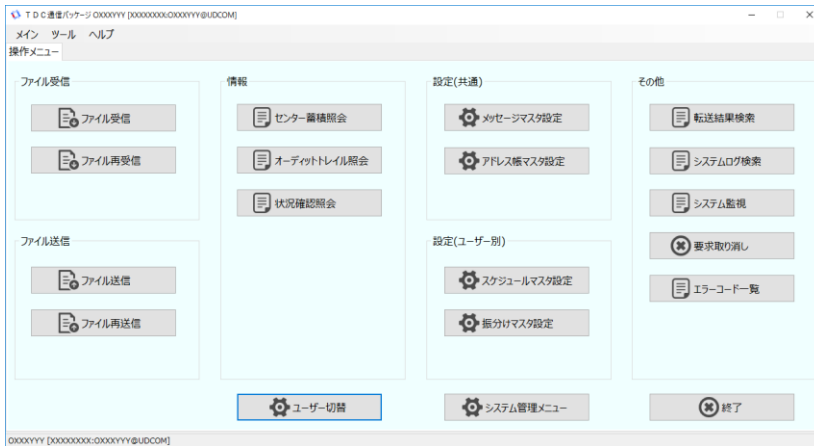
## 4. 以下ご利用方法に沿ったシステム起動を実行

ネットワークドライブを利用される場合：「ローカル起動」をクリックします

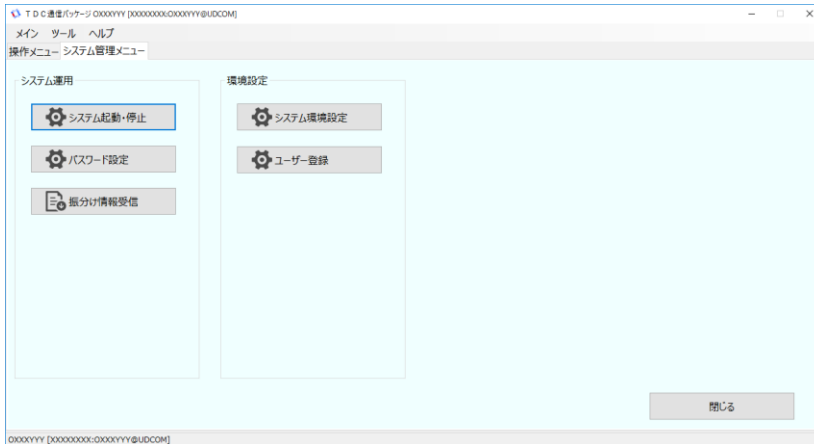
ネットワークドライブを利用しない場合：「サービス起動」をクリックします



## 1. 「システム管理メニュー」をクリックします



## 2. 「パスワード設定」をクリックします





- 『プロセスID登録完了のご案内(PDF)』に記載されている仮パスワードを入力の上、本パスワードに任意の値を入力し、プロセス固有情報の「選択」をクリックします。

The screenshot shows a web browser window with the title "TDC連携パッケージ OXXXXXX [XXXXXXXXXX:OXXXXXX@UDCOM]". The browser address bar shows "main" and "ヘルプ". The page content includes a navigation menu with "操作メニュー" and "システム管理メニュー" and a sub-menu "パスワード設定". The main content area is titled "u-DIEX / パスワード情報" and contains the following fields and buttons:

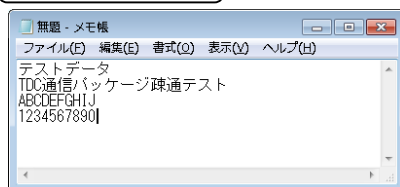
- 利用者名称: OXXXXXX (dropdown menu)
- プロセスID: OXXXXXX@UDCOM
- 仮パスワード(+): [Redacted input field]
- 本パスワード(+): [Redacted input field]
- プロセス固有情報(+): [Redacted input field] with a "選択" button next to it.
- Buttons: "変更指示" and "閉じる" on the right side.
- Response message area: "応答メッセージ:"

- ファイル選択画面が表示されるので、『プロセスID登録完了のご案内』と一緒に受取られた、プロセス固有情報 (OXXXXXX\_UDCOM.ca) を選択します。
- 「変更指示」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックします。

以上でu-DIEXパスワード登録完了です。

1. テストデータの準備（作成）を行います。任意の情報でテキストファイルを作成し、保存します。

テストデータ作成例

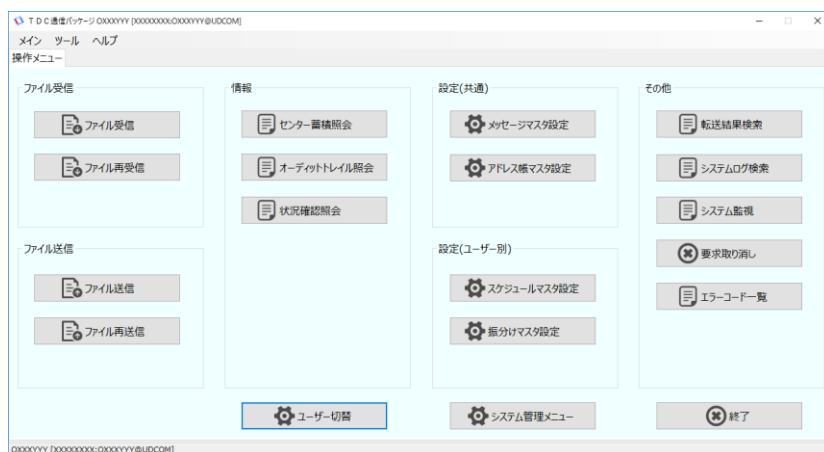


メモ帳等を使用しテストデータを作成し保存します

※ファイル名、保存場所は任意です

※作成したデータは項番8、10の「データ送受信テスト」にて使用します

2. 操作メニューから「メッセージマスタ設定」をクリックします。



3. 「登録」をクリックします。



## 3.メッセージ情報を入力します。

## ( 入力値例 )

項番	転送制御情報	入力値
1	メッセージ識別子	TESTDIEX
2	アプリケーションフォーマット	自由形式
3	アプリケーション有効長	blank (記入無し)
4	ファイルタイプ拡張子	txt
5	保存期間	1
6	コード変換	チェック無し (変換しない)
	圧縮	チェック無し (圧縮しない)
	暗号化	しない
	ヘッダー作成	しない
	一括受信	しない

4. 「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。

メッセージ設定

メッセージ識別子(\*): TESTDIEX

アプリケーションフォーマット:  TNS形式  TNS拡張形式  標準形式  自由形式

ファイルコード:

アプリケーション有効長:

ファイルタイプ拡張子(\*): txt

保存期間(\*): 1 (日)

コード変換:  しない  する

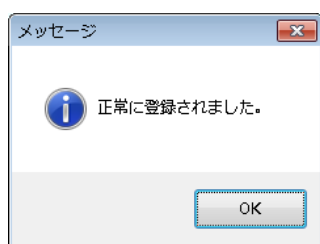
圧縮:  しない  する (DIEX授受のみ有効)

暗号化:  しない  する (DIEX授受のみ有効)

ヘッダー作成:  しない  する

登録

戻る



5. 「更新」をクリックし、情報を反映します。

メッセージ設定

検索条件

メッセージ識別子:

最終更新日: データ未登録

メッセージ識別子	ファイルコード	フォーマット	有効長	拡張子	圧縮	暗号化	コード変換	保存期間	ヘッダー作成	最終更新日
TESTDIEX		自由形式		txt	無	無	無	1	無	2020/02/04 14:32:10

検索

登録

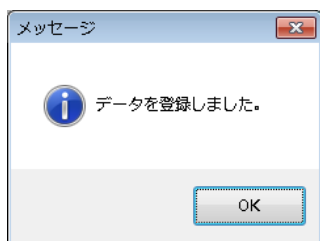
削除

変更

更新

閉じる

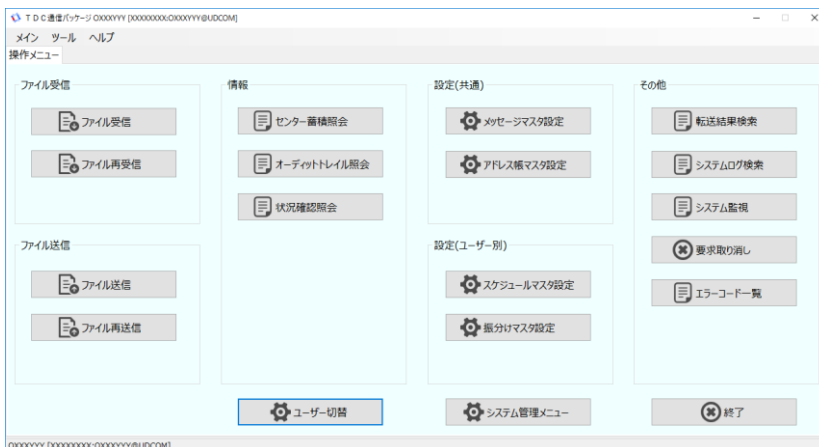
検索結果  
1件



6. 「閉じる」をクリックし画面を終了します。



7. 操作メニューから「アドレス帳マスタ設定」をクリックします。



8. 「登録」をクリックします。

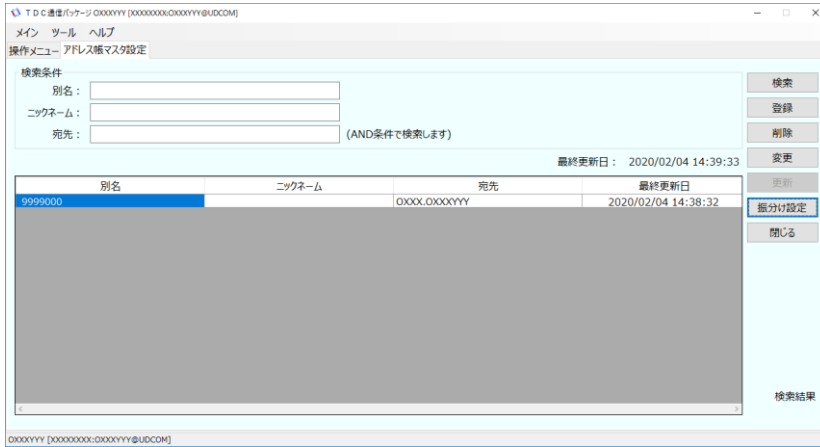


9. 自己宛用の情報を入力後に「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。

別名の項目に、自分自身の取引先コード  
**(御社の取引先コード (5桁) + 取引先詳細コード (3桁))**  
 を入力して下さい。

宛先の項目に、自分自身のユーザーID  
**OXXX.OXXXXYY**を入力して下さい。  
 ↑ ↑  
 アカウント (4桁) EDI-ID (7桁)

10. 「更新」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。



DIEX

両方

DIEX（汎用）サービスにご加入のお客様は**次ページ**へ進んでください。

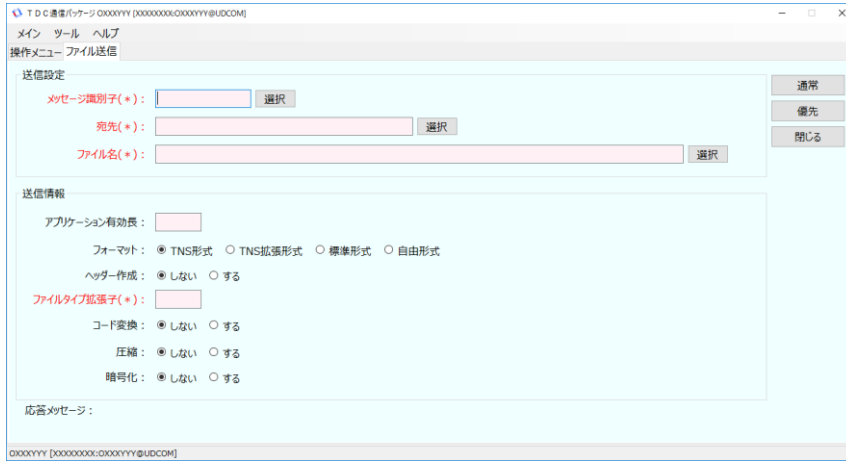
u-DIEX

u-DIEX（汎用）サービスのみにご加入のお客様は「9. 振り分け情報受信」へ進んでください。



## 8. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した  
TESTDIEXをダブルクリックします

## 3. 宛先の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した  
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



**注意**

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

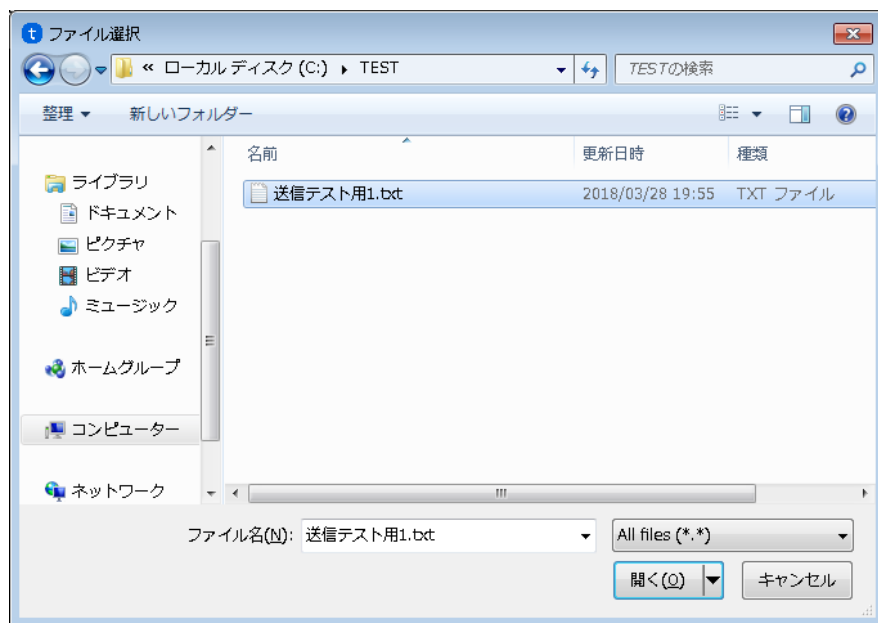
誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、  
**送信先の業務が停止する可能性**があります。  
宛先の指定には充分ご注意ください。

## 4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

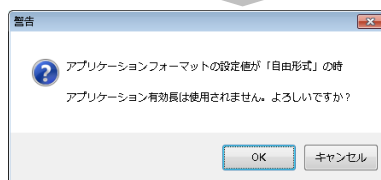
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

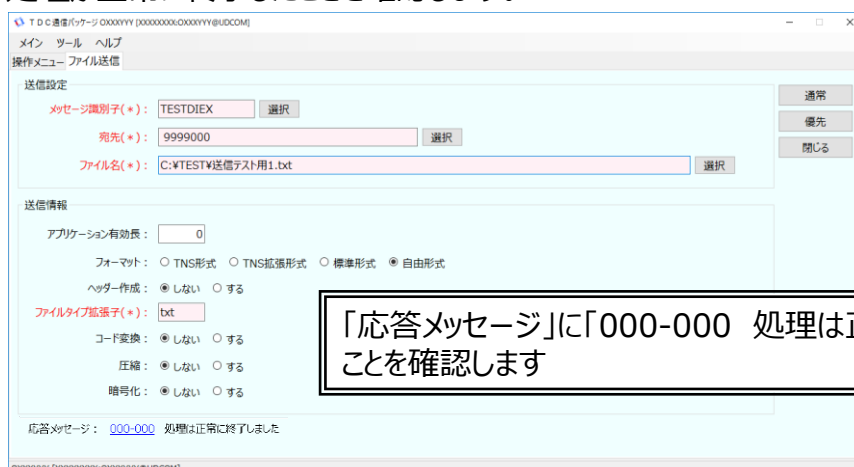
## 5. 「優先」をクリックします。



「はい (Y)」ボタンを選択します

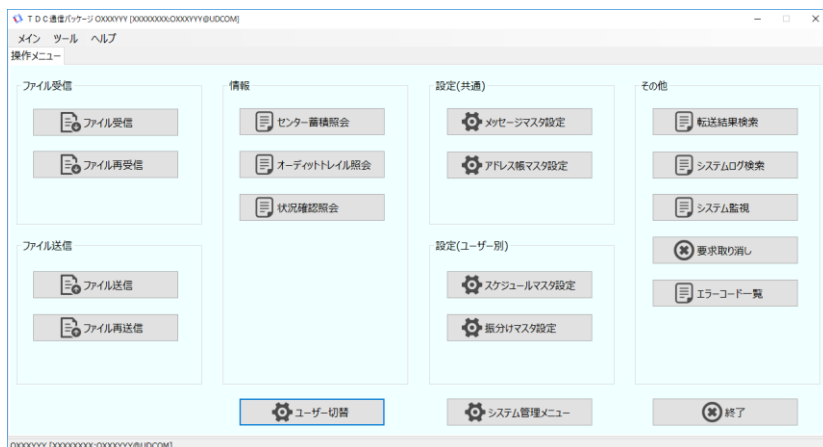


## 6. 処理が正常に終了したことを確認します。

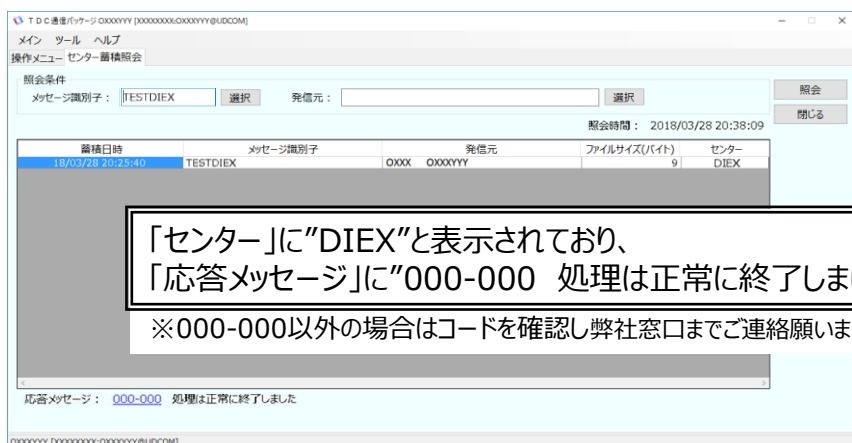


「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

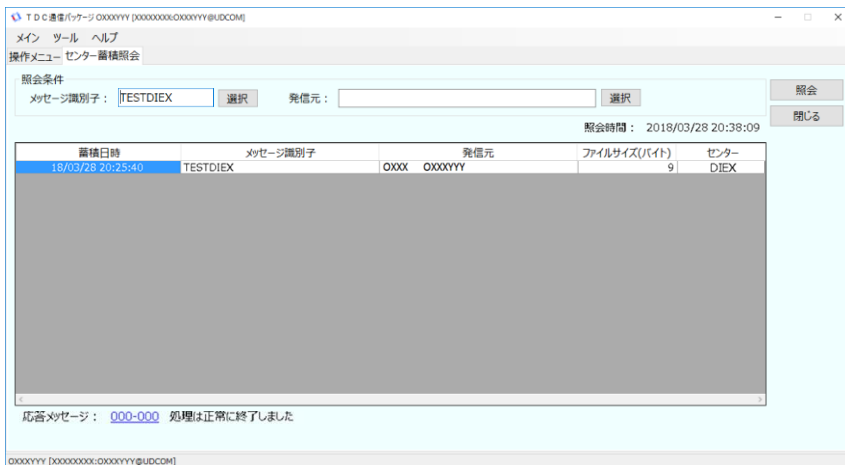
7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。



8. 「照会」をクリックします。



9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



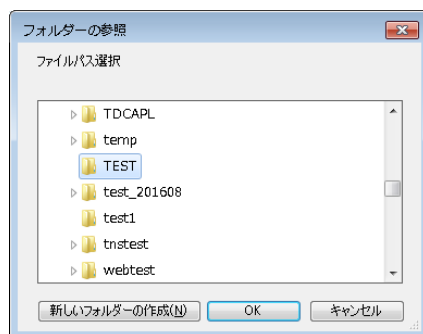
10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



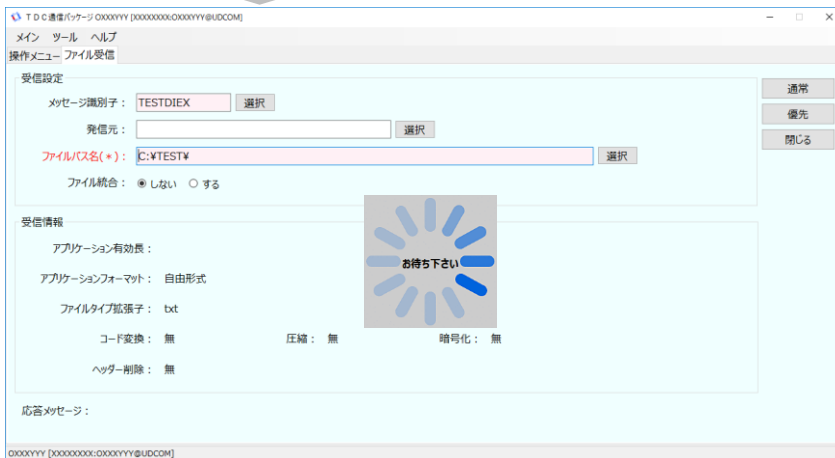
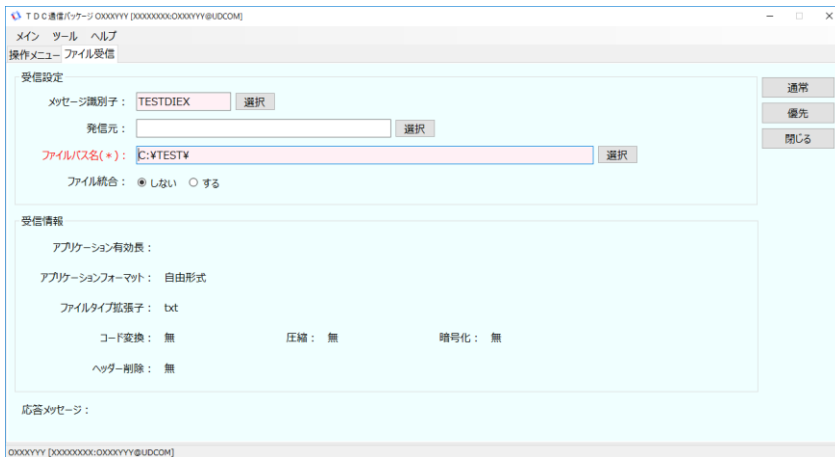
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

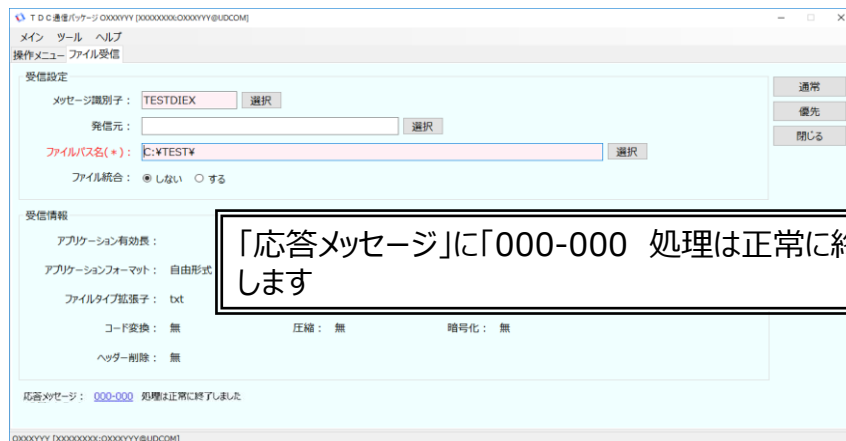


「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスを選択して、OKをクリックします

## 13. 「優先」をクリックします。



## 14. 処理が正常に終了したことを確認します。



## 15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。



u-DIEX

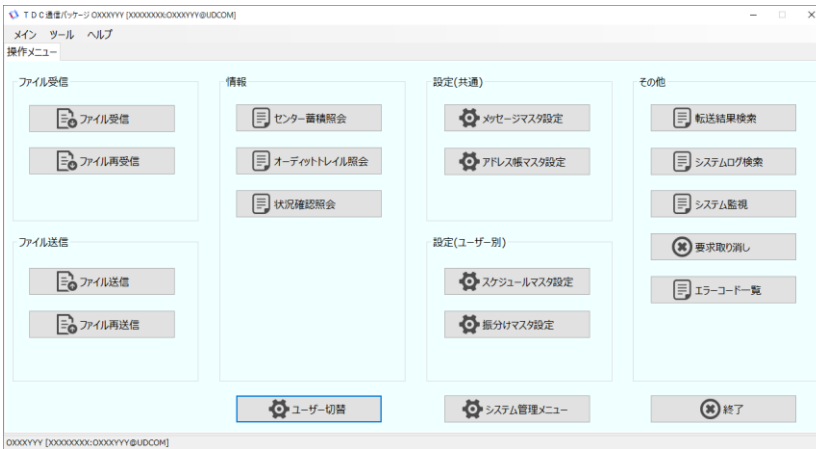
両方

u-DIEX（汎用）サービスにご加入の  
お客様は**次ページ**へ進んでください。

DIEX

DIEX（汎用）サービスのみにご加入  
のお客様は作業完了です。

1. 操作メニューから「システム管理メニュー」をクリックします。



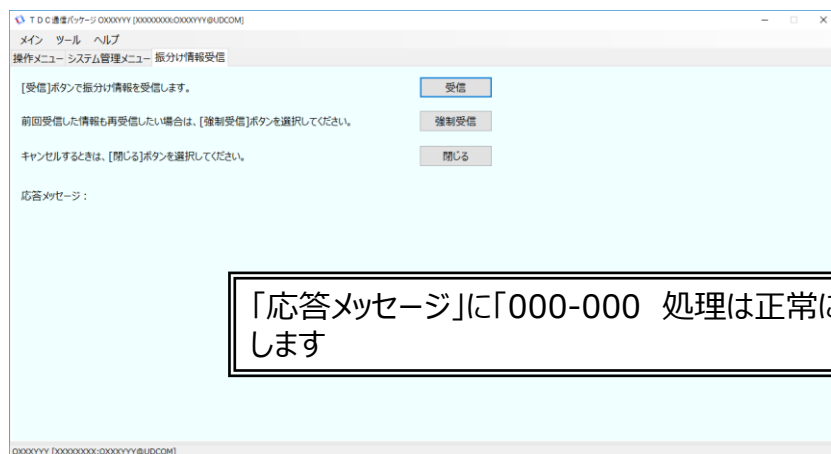
2. システム管理メニューから「振り分け情報受信」をクリックします。



### 3. 「強制受信」をクリックします。



### 4. 処理が正常に終了したことを確認します。



1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した  
TESTDIEXをダブルクリックします

## 3. 宛先の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した  
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



**注意**

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、

**送信先の業務が停止する可能性**があります。

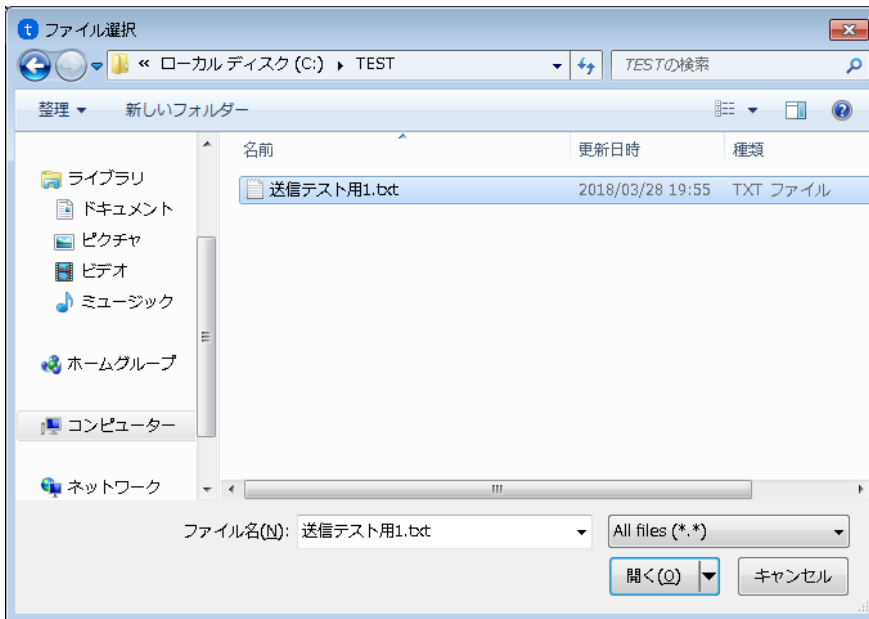
宛先の指定には充分ご注意ください。

## 4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

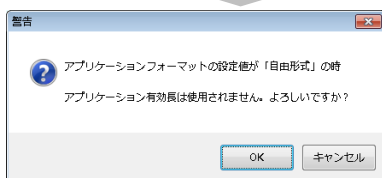
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



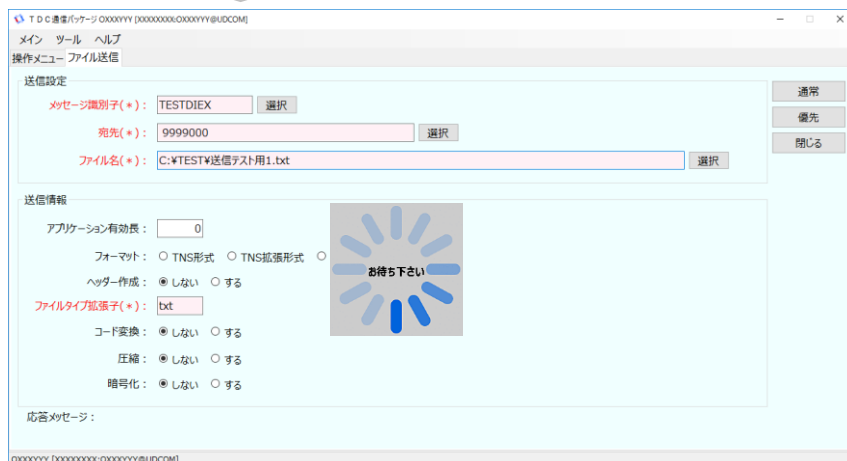
作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

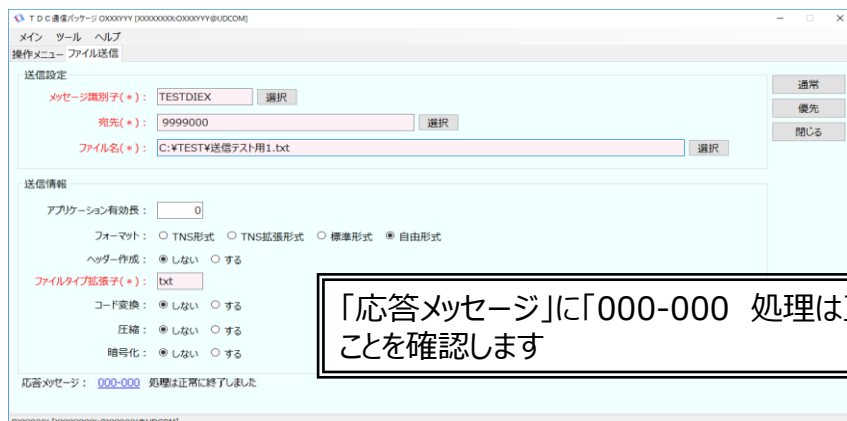
## 5. 「優先」をクリックします。



「はい (Y)」ボタンを選択します

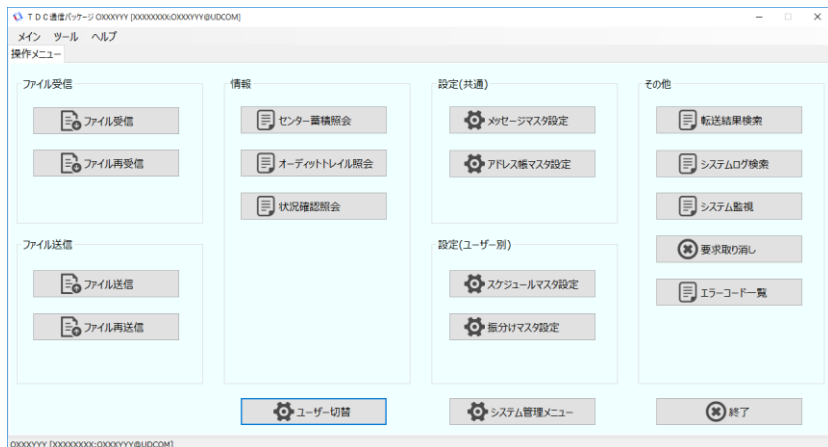


## 6. 処理が正常に終了したことを確認します。

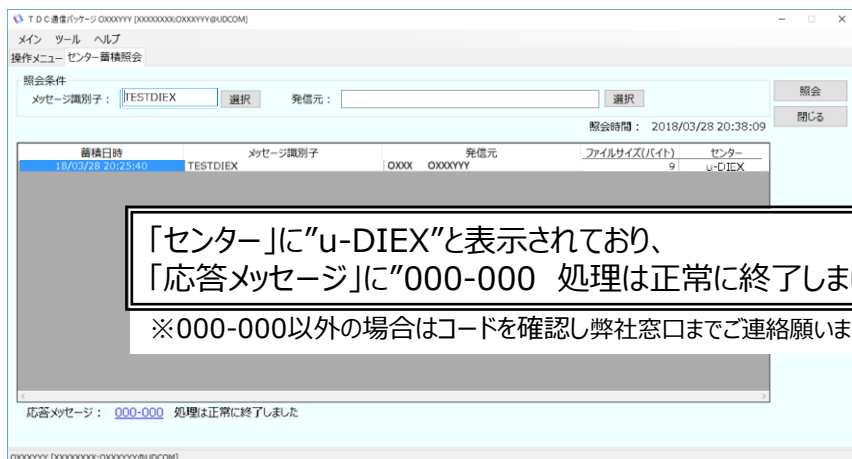


「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。



8. 「照会」をクリックします。



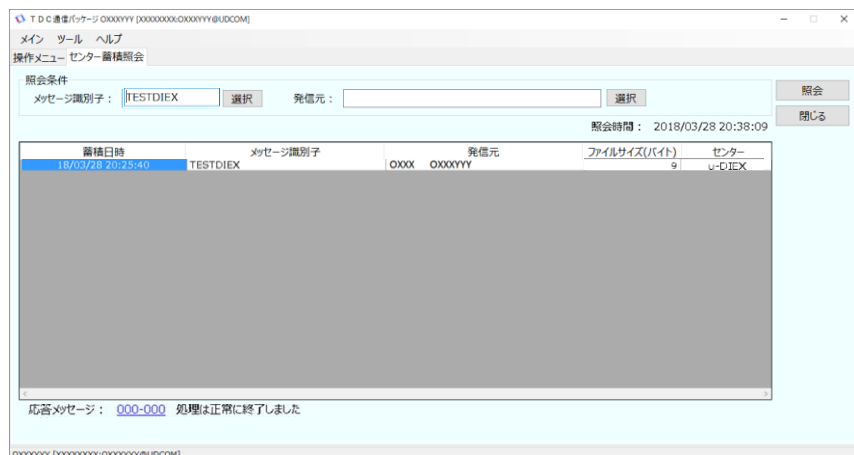
「センター」に“u-DIEX”と表示されており、  
「応答メッセージ」に“000-000 処理は正常に終了しました”が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

応答メッセージ: 000-000 処理は正常に終了しました



9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



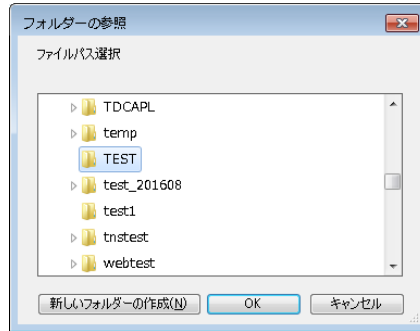
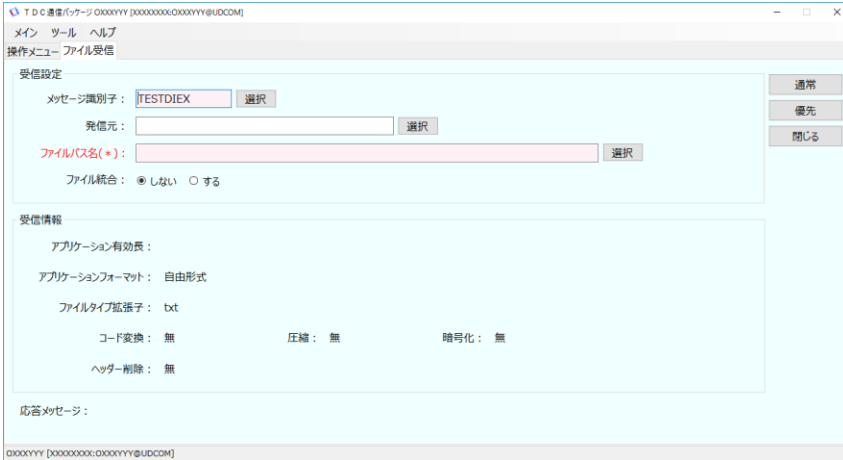
10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



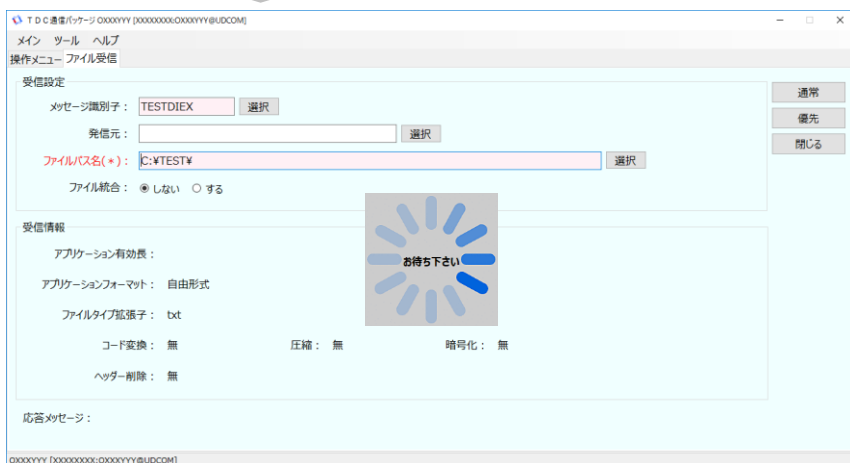
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

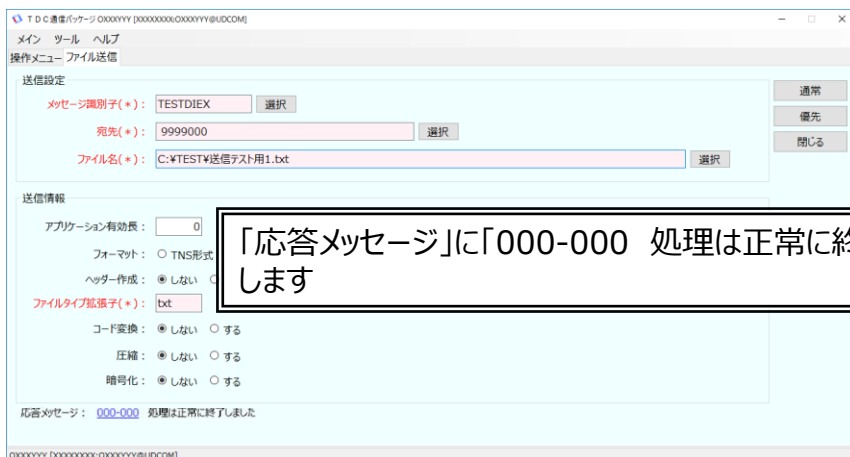


「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスを選択して、OKをクリックします

## 13. 「優先」をクリックします。



## 14. 処理が正常に終了したことを確認します。



## 15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。

---

## A. 参考情報

.NET Frameworkがインストールされていない場合、以下対応が必要となります。

1. Microsoftサイト「.NET Frameworkのインストール」から、.NET Frameworkをダウンロードします。

必要なバージョンは、.NET Framework 4 以上(\*1)です。

2. Microsoftサイトにあるインストール方法にしたがって、インストールを行って下さい。

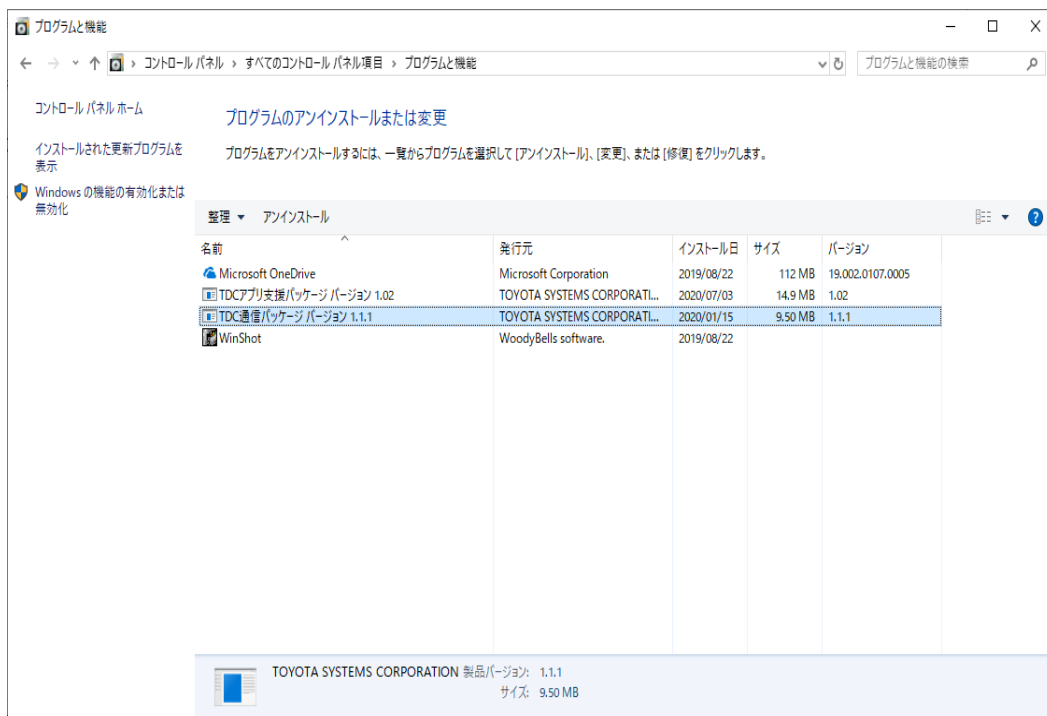
**注意**

アンインストールを実施する前にご確認下さい。

- ・アンインストールを行う際は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニューからシステム停止を行い、システムが停止済みであることを確認してください。

1. Windowsのコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「TDC通信パッケージ バージョン x.x.x」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

※バージョンは、導入されているパッケージのバージョンにより異なります。



画面の指示に従って、アンインストールを行ってください。

お問い合わせ先

株式会社 トヨタシステムズ カスタマーセンター

ポータルサイト：

<https://ts-customer-center.custhelp.com/>